

Medical Group AISEIKAI

上飯田クリニック

上飯田クリニック

上飯田クリニック院長 加藤 優

1 上飯田クリニック概要

血液透析を専門とする透析専門クリニックです。

透析コンソール40台にて昼間コース（月水金、火木土）夜間コース（月水金）の3コースで行っております。

総合上飯田第一病院の腎臓内科はじめ各科と連携を行いながら患者様の健やかな暮らしを支え、守っております。

透析療法

腎臓の機能が10%以下になると、透析により腎臓の働きを代替える必要があります。透析療法には、血液透析（HD）と腹膜透析（PD）があります。

血液透析（HD）

血液を人工臓器（ダイアライザー）に循環させて、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

腹膜透析（PD）

お腹に設置した管から透析液を注入し、お腹にある腹膜を透析膜として利用して、体にたまった不要な老廃物や水分を除去し、電解質などのバランスを調整します。

2 2011年活動実績

医療安全対策委員会（年12回）、院内感染委員会（年12回）、栄養委員会（年12回）、フットケア・チーム（年12回）の定期的な開催及び各種委員会・看護部主催の講習会等の開催。また、医療安全対策委員会による防災訓練（年2回）やヒヤリハットの分析・業務改善を行い、医療事故防止に取り組んでいます。

患者様の定期的なフットケアを行い下肢の潰瘍・壊死などの予防対策、管理栄養士により、食事の相談・指導・ポスター等による啓蒙活動などきめ細やかな対応を行っております。

3 2012年目標

各部門の専門技術・知識の向上を図り、情報のIT化を推進することで、よりよい透析医療ができるチーム医療を目指します。

看護部

師長 田尻 小枝子

1 特徴

- (1) 看護の理念
愛生会の理念「信頼され愛される病院」に基づいて患者様の生命を尊重し、看護職としての自信と誇りと責任を持って最善の看護に努める。
- (2) 上飯田クリニックの概要
血液透析を専門とする透析専門クリニックで、透析コンソール40台にて昼間コース（月水金、火木土）夜間コース（月水金）の3コースで行っております。
総合上飯田第一病院の腎臓内科はじめ各科と連携を行いながら患者様の健やかな暮らしを支え、守っております。

2 2011年活動実績

平成23年度愛生会看護実践発表会に「フットケアー」について発表。
各種委員会にて業務改善及び効率化を図っております。
学会、各種講演会等に参加してフィードバックを行い看護の質の向上を図っています。

3 2012年目標

- (1) 看護業務の改善及び効率化を図る。
- (2) 看護の質の向上に努める。
- (3) 愛生会看護実践発表会に演題を提出する。

院内感染対策委員会

1 特徴

院内感染対策委員会は、毎月定例で院内において発生した感染事例の報告、重要案件に対して委員会で予防・改善策を検討し、職員に周知徹底している。

その他、感染講習会を定期的及び随時行っています。

患者様には、感染症対策（個別、ポスター掲示による）の啓蒙活動。

2 2011年活動実績

院内感染対策委員会 ： 毎月1回開催（年12回）

院内感染講習会 ： 年2回開催

（講習会内容：院内感染対策について、ノロウイルス対策について）

MRSA 感染、ノロウイルス感染、B型・C型等肝炎マニュアル更新

新型・季節型インフルエンザ対策：マスクの着用、手洗い、うがい、手指消毒の啓蒙活動、感染ベッドの確保、熱発時の対応マニュアル作成、透析室に空気清浄機の導入。

3 2012年目標

院内感染対策委員会 ： 毎月1回開催（年12回）

院内感染講習会の定期開催 ： 年2回開催

感染対策の啓蒙活動（患者様及び職員）

医療安全対策委員会

1 特徴

医療安全対策委員会は、毎月定例で院内において発生した医療事故及びヒヤリハット・インシデントを統括報告し、重要案件に対して委員会で予防策や改善策を検討し、職員に周知徹底している。

その他医療安全講習会、防災訓練（地震・火災・災害）、透析装置等（新規導入コンソール・輸液ポンプ取り扱い訓練、AED 取り扱い講習、エアー誤入時の対策法など）の実施訓練を定期的及び随時行っています。

2 2011年活動実績

医療安全対策委員会：毎月1回開催（年12回）

医療安全講習会：年2回開催

講習会内容：医療事故について

：リスク管理について

防災訓練：年2回開催

訓練内容：初期消火・全館放送及び避難誘導訓練

：消火器訓練・防災ビデオ（透析業務における震災時の対応）

透析装置等の実施訓練：年4回開催

誤針事故対策マニュアル更新、ヒヤリハット・インシデントの分析

3 2012年目標

医療安全講習会・防災訓練・透析装置等の実施訓練の定期開催

ヒヤリハット・インシデントの分析、医療安全の啓蒙活動

東日本大地震から学び、備えて災害マニュアルの更新を行う

栄養委員会

1 特徴

栄養委員会は、給食委託会社（日清医療食品株式会社）とともに患者食・職員食におけるサービス向上を目標に活動している。

個別・ポスター等による栄養情報提供も合わせて実施している。

2 2011年活動実績

- ・ 栄養委員会：年12回（毎月1回開催）
 - 残飯量の報告
 - アンケート結果の報告
 - 異物混入報告
 - 職員食堂の室内温度管理について検討
 - 非常食の周知と非常用食器の購入
 - 新商品の採用、行事食の検討
- ・ 患者食・職員食の残飯計量および記録：毎食後
残飯量の計量と食材の記録を行い、献立作成に反映
- ・ 職員食アンケート：年6回（奇数月に実施）
平均回答率71.5%
主食、主菜、副菜2種、汁物の項目について評価
改善点・・・天つゆに大根卸しをつける、ミンチ肉の臭み対策、果物提供
リクエストメニュー提供・・・混ぜご飯、焼きそば、ちらし寿司、
ヒレカツ、ポテトサラダ
- ・ ポスター掲示による栄養啓蒙活動
外来用・・・飲み物の栄養量、カリウムの含有量比較、災害時の食事、
年末年始の過ごし方
職員用・・・アルコールについて、外食メニューの選び方、
ファーストフードの栄養量一覧
- ・ 管理栄養士、給食委託会社管理栄養士共に院内外の講習会の参加

3 2012年目標

- ・ 外来透析患者への栄養管理に関する栄養評価法を見直す
- ・ 職員食を健康管理の媒体となるよう栄養表示などを検討する
- ・ 患者食および職員食を新メニュー導入、行事食の組み込み充実を図る
- ・ 厨房内の異物混入を1件/月以内にする
- ・ 院内外講習会等の参加

フットケア・チーム

1 特徴

腎不全になると閉塞生動脈硬化症を合併しやすくなります。

閉塞生動脈硬化症とは、血管が細くなったり、詰まったりして、手や足などの身体の隅々まで十分に血液が流れなくなる病気です。血流が悪くなると、手や足にできた小さな傷でも感染を起こし、潰瘍や化膿にまで進行すると治療が難しくなります。

特に、腎不全により免疫力が低下していると、感染症が悪化しやすく、手術が必要になる場合がありますので、日頃から足に触れて観察し、足の異常に早く気付くことが大切になりますので、定期的にフットケア・チーム委員会の開催、勉強会の開催、マニュアルの作成、啓蒙活動、情報の共有化をはかり早期対応が出来るようにしております。

2 2011年活動実績

フットケア・チーム委員会 : 毎月1回開催 (年12回)
 フットケア勉強会 : 年2回開催
 フットケア・マニュアル作成、啓蒙活動 (ポスター等)
 平成23年度愛生会看護実践発表会にフットケアについて発表

3 2012年目標

フットケア・チーム委員会 : 毎月1回開催 (年12回)
 フットケア勉強会 : 年2回開催
 フットケア・マニュアル作成、啓蒙活動 (ポスター等)
 フットケア講習会等に参加